

研究業績集（2023～2024 年）

1 氏名等

氏名 秋山順子

性別

年齢

生年月日

E-mail アドレス:

2 現職

学部名 動物看護学部

学科名 動物人間関係学科

職名 准教授

発令年月日 2024 年 4 月 1 日

併任

3 学歴・学位 博士(学術)

(最終学歴)

2005 年 3 月 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻後期課程修了
博士（学術）

4 職歴

(2023 年度以降採用者のみ)

5 学会

(1) 学会及び社会における活動実績に関する事項

公益財団法人日本ヘルスケア協会、人とペットとの共生によるヘルス部会

(2) 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数

(3) 学会賞等・年

(4) 国際学会でのゲストスピーカー歴

(5) 国内学会でのゲストスピーカー歴

(6) 所属学会

International Society for Anthrozoology（人と動物の関係に関する国際学会）

一般社団法人日本動物看護学会

6 賞罰

(1) 教育関係の表彰

(2) 感謝状等

(3) その他

7 授業担当(当該年度)

(1) 教育担当科目(科目名、単位数)

2023 年度：アシスタンスドッグ論 (2 単位)、アシスタンスドッグ演習 (2 単位)、アニマルアシステッドセラピー実習 (2 単位)、ジェロントロジーとドッグウォーキング (2 単位)、アッセンブリーアワーⅣ (1 単位)、卒業論文 (4 単位)

2024 年度：アシスタンスドッグ論 (2 単位)、アニマルアシステッドセラピー実習 (2 単位)、ジェロントロジーとドッグウォーキング (2 単位)、アッセンブリーアワーⅣ (1 単位)、卒業論文 (4 単位)

(2) 分担科目(科目名、単位数)

2023 年度：動物生活環境学 (2 単位)、動物人間関係学概論 (2 単位)、動物文化人類学 (2 単位)、アニマルアシステッドセラピー論 (2 単位)

2024 年度：動物生活環境学 (2 単位)、動物人間関係学概論 (2 単位)、アニマルアシステッドセラピー論 (2 単位)

8 現在の主要な研究課題

課題名：犬の散歩がもたらす犬と飼い主双方への生理・心理的影響

9 教育業績、研究業績、社会貢献、法人・大学運営に関する事項

(1) 教育上の実績に関する事項(作成した教科書、教材)

(2) 職務上の実績に関する事項(特許等：発明の名称、公報種別、特許番号等)

(3) 外部研究資金(競争的資金)の受入

1) 各省庁及び各種財団等の補助金；

区分

課題番号

代表者

研究課題名

金額(年度配分額)

2) 奨学寄附金 ;
研究科題名
金額(年度配分額)

3) 受託研究 ;
研究科題名
金額(年度配分額)

4) その他 ;
研究科題名
金額(年度配分額)

(4) その他(産学官連携等に関する事項を含む)

1 0 著書、論文、学術発表の実績に関する事項(本人については下線で示す)

(1) 著書 :

(2) 欧文論文

(3) 和文論文

三井香奈, 秋山順子, 山崎薫 (2023) 動物愛護に関する法律についての周知度及び教育に関するアンケート調査 ―令和 4 年度調査報告― 動物研究, (5), 75-85

龍由季乃, 秋山順子, 太田光明 (2024) 高齢者に対する動物介在療法における効果と医療従事者に関連したその考察 日本老年療学会誌, 3 巻, 1-8

三井香奈, 秋山順子, 山崎薫 (2024) 動物愛護に関する法律についての周知度及び教育に関するアンケート調査 ―令和 5 年度調査報告― 動物研究, (6), 77-87

(4) 財団・調査等研究報告、大学紀要・研究所報告、文部科学省科学研究費補助金による報告書、その他それに準ずる定期刊行物

(5) 総説、解説、翻訳、論文形式を除くその他(国内定期刊行物、商業誌等)

(6) 学術講演、学会報告

秋山順子, 龍由季乃, 太田光明 (2023) 犬の散歩時における犬の唾液中DOPAC (3,4-dihydroxyphenylaceticacid) の変化 日本動物看護学会第32回大会 (岡山理科大学)

秋山順子, 橋口菜々子, 太田光明 (2024) 犬を用いたふれあい活動による大学生の心理・生理的効果の検討 日本動物看護学会第33回大会 (ヤマザキ動物看護大学)

1 1 社会貢献の実情に関する事項

- (1) 非常勤講師(大学)：大学名、科目名、単位数
ヤマザキ動物専門学校、人と動物の関係学、2 単位
- (2) 講師派遣：派遣名称、派遣先名称、テーマ、日時、場所
- (3) 市民大学：テーマ、時間数、開講年度、開講場所
- (4) 各種委員会・審議会等の委託：委員会等の名称
- (5) その他(高校生セミナー、小・中学校での講演、地域シンポジウムへの参加等)
2023 年 9 月 30 日クラーク記念国際高等学校高大連携事業において「科目名：アシスタンスドッグ論」講師を務めた。
2024 年 3 月 19 日高島高等学校にて講師を務めた「アニマルセラピー動物の効果」。
2024 年 6 月 8 日立川女子高校 S プロジェクトで講師を務めた「アニマルセラピーの動物の効果」。

1 2 法人・大学運営の実績に関する事項

- (1) 役員・評議員に関する事項(法人)：役職名
- (2) 各種委員会に関する事項(法人)：委員会名
グローバル推進委員会
- (3) 各種委員会に関する事項(大学)：委員会名
2023 年度：学生委員会、就職委員会、入学試験委員会、学生募集部会、動物実験委員会
2024 年度：学生委員会、就職委員会、入学試験委員会、学生募集部会、動物実験委員会、国試対策委員会、
- (4) 広報活動 例)報道発表(プレスリリース)、雑誌への投稿、取材(学外者)の受入、取材監修、ホームページへの発表等：タイトル、媒体、年月日
取材 動物園に行く健康効果について NHK 総合「あしたが変わるトリセツショー」2024 年 3 月 7 日
取材・監修 特集「心も体も癒してくれるペットはヘルシーパートナー」大樹ライフ 2024 年 6 月号
- (5) その他